



秋田大学医学部附属病院 専門・認定看護師会

ダイヤモンドナース通信

第45号 令和4年12月25日発行

ウィッグの紹介だけじゃない！

アピアランスケアと一緒にとりくみませんか？

アピアランスケアとは

「がんとその治療によって外見の変化が生じる患者さんに対して、身体的、心理的、社会的の3つの問題をアセスメントし、医学的・整容的・心理的・社会的手段を用いて、外見の変化から生じる患者の苦痛を緩和することにより、クオリティ・オブ・ライフを改善する医療者のアプローチ」¹⁾と定義されています。

1) 野澤桂子:がん診療の副作用マネジメント 6 支持療法としてのアピアランスケア.Precision Medicine3(4):30-33,2020

アピアランスケアといえば脱毛に対するウィッグの案内と思う方が多いかもしれません。しかし、患者さんが感じている苦痛によってはウィッグや化粧ではなくちょっとしたきっかけで安心し自分らしさを実感できることもあります。アピアランスケアにおいて大切なのは、患者さん自身が外見の変化によって生活を制限されることなく自分らしい生活を送るため、“医療者として何ができるか”を考えることだと思います。

～たとえばこれもアピアランスケア～

分子標的薬：EGFR阻害*で治療を受ける患者さんの場合

*イレッサ®, タルセバ®, アービタックス®, ベクティビックス®など

EGFR阻害剤は皮膚や爪への障害が起こりやすい薬剤です。

高頻度に見られるぞ瘡様皮膚炎は、顔面や頭部が好発部位でもあり、身体的だけでなく心理・社会的にも患者さんに苦痛をもたらします。また、乾皮症や瘙痒も患者さんに不快感を与え、QOLの低下や治療への意欲の低下をもたらすこともあります。皮膚障害悪化予防のため、患者さんが適切なスキンケアができるような関わりが求められます。

スキンケア

清潔：やさしく＆汚れはきちんと落とす！

石鹸や洗浄剤はしっかりと泡立てる



保湿：ローションやクリームなど意識してたっぷり

保護：紫外線などから保護をする



目安は薄く1枚にしたティッシュペーパーがくっつくくらい

患者さんが日常生活に取り入れられるよう、具体的な方法を一緒に考えることが大切です。皆さんの近くに皮膚が乾燥している患者さんはいませんか？もしかすると患者さんはケアの説明は受けていても実際どうしたらいいのかわからず、しなくてもいい我慢をしているのかもしれない。患者さんに何ができるかを一緒に考えませんか？

ダイヤモンドナース通信は
看護部ホームページにも掲載しています！

担当：がん看護専門看護師

